

みて! よんで! いっ?

ぎかいのひろば

心と安心の給食を
子ども達に



トピック

- ★おいしい給食を子ども達に
突撃インタビュー・学校給食共同調理場 … P2～3
- ★復旧・復興と子育て支援を全力で進めた1年
令和6年度決算 …… P4～5
- ★町政を問う!
一般質問 6氏が登壇 …… P9～15

志賀町議会



突撃インタビュー



学校給食共同調理場で

お聞きしました！



学校給食は、栄養バランスのとれた食事で子どもの健康な成長を支え、食に関する正しい知識や習慣を身につける「食育」の場です。

町では、子育て世代の経済的な負担を軽減すること、子どもの成長を町全体で支えるためとして、令和6年9月から**学校給食を完全無償化**としています。

学校給食共同調理場では、町内の小・中学校および志賀高等学校に、約1150食の給食を提供しています。児童や生徒が安心して給食を楽しめるよう、毎日業務に取り組んでいます。今回は共同調理場の栄養士、調理員にお話を伺いました。

子ども達が飽きない様に工夫

献立の作成について、教えてください。

子ども達の好きな献立はもちろん、子どもが得意でない和食の献立や、お家であまり食べないだろうなっていうような献立も敢えて取り入れるようにしています。

作業効率や衛生面、こうしたらアレルギーの子も食べられるんじゃないか、なども考慮し、献立を決定します。

Q 肉が多い？ 魚が多い？

A メインの魚と肉が同じくらいの回数になるように、子どもが飽きない様に工夫しています。

例えばメインを肉にしたら、副菜にツナとか、ちょっと魚をいれ

1番人気はやっぱり、カレー！

Q 人気のメニューは何ですか。

A 子ども達に人気があるのは、月一回で出しているカレーですね。

リクエスト給食で上がってくるのは、小学校・中学校でも鶏肉のから揚げとポテトサラダです。カレーはどの市町でも、ずっと人気、先生にも人気ですね。



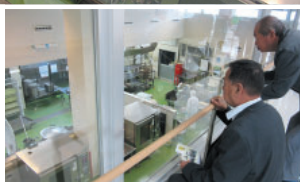
刀祢 栄養教諭

館島 栄養士

「食べて、元気に！」

美味しい給食が出来上がっているの、食べて元気な体で楽しい学校生活をおくってほしいと思います。

てきぱきと調理が進んでいく



私達が
作っています！



食材の洗浄や 加熱処理を徹底

Q 調理する上で気を付けていることはなんですか。

A 異物や汚れには特に気を付けて、野菜は洗浄を徹底してやったり、洗う場所も決めたりとか、常に気をつけています。

野菜もほぼ加熱していて、種類や量、切り方で、加熱時間や温度を変えています。

なるべく高い温度で殺菌し、素早く冷却することでフレッシュさを出すよう心掛けています。

チームワークが重要

Q 限られた時間でミスなく行うことは簡単なことではないと思いますが、いかがですか。

A 1か月の献立が決まったら4組に分かれて、その中で話し合いながら組み立てていきます。作る人と順序を決めて、問題があれば班の中で共有しながら解決し、毎日臨んでいます。

調理場のスペースも限られてい

るので、それぞれの場所をコンパクトに抑えつつ、作業動線がうまく流れるようにしていくことなども話し合います。

特にアレルギー対応は人の命に関わるものなので、とても神経を使います。

調理場に見に来て /



観覧室を兼ね備えている調理場なので、いつでも先生や友達と給食を作っているところを見に来てほしいです。

子ども達に届くまで心配

Q ほかに、工夫していることはありますか。

A 出来上がったからバットの中に収める作業では、下の段が濡れないようにとか、一つのバットが重くなり過ぎないように二つに分けたりすることもあります。

学校で上手に配膳してくれているかなとも思います。

どんな立派なメニューでも口に 入らなかったら意味がない

Q 子ども達に伝えたいことはありますか。

A 子ども達と声を交わすことがなかなかないので、(残飯・食器など)帰ってくるものがすべての答えになります。その様子を見て、日々反省しています。

今一番必要な栄養を、最も計算して提供しているので、とにかくひと口食べてほしい、その思いでいつも作っています。

広報特別委員会から



取材日の給食メニューは、デミグラスハンバーグ、キャベツのマヨサラダ、野菜とベーコンのスープでした。

日々子ども達に当たり前に届けられている給食ですが、その裏には調理場に関わる皆さんの並々ならぬ努力があることを、改めて実感しました。

子どもたちの安全で安心な食事を守るために尽力してくださっていること、心から感謝申し上げます。

で進めた1年

9月定例会は、9月2日から9月19日まで18日間の会期で開かれ、令和7年度の補正予算、条例制定及び改正に係る議案が11件、工事請負契約の一部変更に係る議決の一部変更の議案が1件、財産の取得及び処分に係る議案が2件、令和6年度の各会計決算に係る認定が8件、教育委員会の人事案件に係る同意2件、請願3件を審議しました。

※議決結果は7・8ページ参照

提案理由説明は
コチラから→



保育料を無償化



町負担額

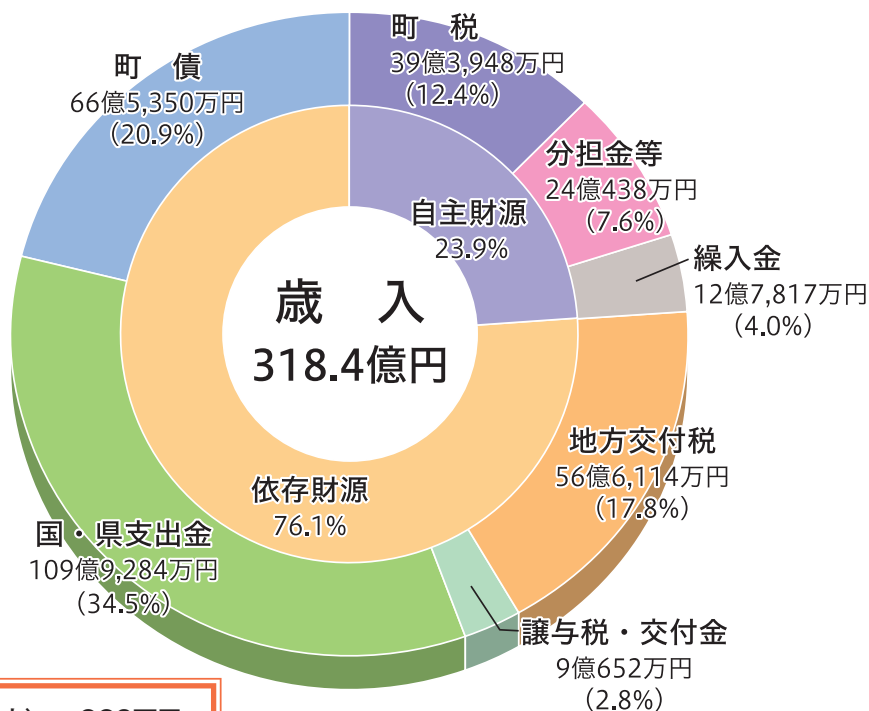
1135万円 (R6.9 ~ R7.3)

学校給食を無償化



給食賄材料費

7161万円



自主財源：町税など町で集めたお金
依存財源：国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりするお金

子育て支援

出産おめでとう祝金(15万円/人)	660万円
18歳までの子どもの医療費を助成	4129万円
教材等の購入(小学校)	1162万円
(中学校)	760万円
通学定期代金を補助(志賀中)	949万円

令和6年度各会計別決算状況

※グラフや表の数字は四捨五入により額が一致しないことがあります。

会計名		歳入額	歳出額	差引残額
一般会計		318億3603万円	289億7238万円	28億6365万円
特別・企業会計	国民健康保険	26億2913万円	26億2564万円	349万円
	後期高齢者医療	3億7275万円	3億7273万円	2万円
	介護保険	32億8259万円	32億7469万円	790万円
	診療所事業	1億7939万円	1億7939万円	0円
	水道(収益的収支)	9億7893万円	5億8805万円	3億9088万円
	水道(資本的収支)	1億9248万円	3億4514万円	△1億5266万円
	下水道(収益的収支)	10億5907万円	10億2022万円	3885万円
	下水道(資本的収支)	12億330万円	17億8661万円	△5億8331万円
	病院(収益的収支)	10億5513万円	13億1555万円	△2億6042万円
	病院(資本的収支)	2億3655万円	4億3878万円	△2億223万円

収益的収支：一事業年度の企業の経営活動に伴って発生する全ての収益と費用。

資本的収支：建物・施設の建設といった支出の効果が次年度以降に及ぶものや企業債の元金償還などの費用と、その財源となる収入。

令和6年度
決算を認定

復旧・復興 子育て支援を全力

災害廃棄物処理



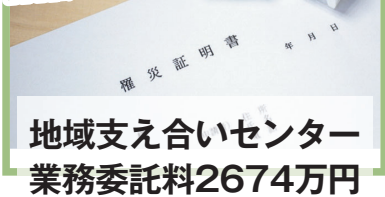
処理委託料
109億3855万円

被災した住家への助成

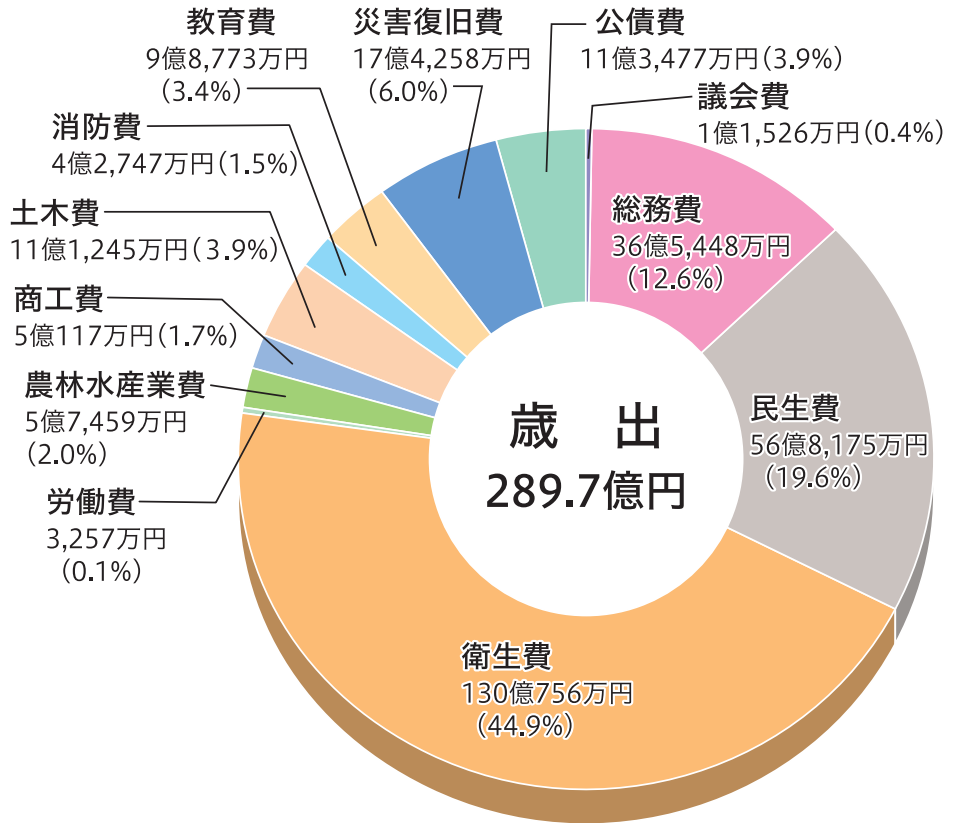


住宅緊急修理・住宅
応急修理工事請負費
6億6206万円

被災者の見守りと 相談支援



地域支え合いセンター
業務委託料2674万円



復旧・復興

地域のコミュニティを支援 4523万円
町復興計画を策定 1078万円
企業及び個人事業主の事業継続を支援
(支給件数: 603件) 8920万円

Check!



重要課題に対応しながら健全な財政運営を

従来からの課題でもある定住人口や交流人口の拡大に向けた取組、関係人口の拡大を含めた地域の活性化による地方創生の取組について、震災にかかる復旧・復興と併せて取り組み、さらに、多発する自然災害に備えた防災対策など重要課題にも対応しながら、健全な財政運営に努められたい。

代表監査委員 山本 恵三

監査委員 林 一夫

■住家の被害 「半壊」以上の世帯

再建方法	対象世帯	支給額	上限額
建設・購入	費用が500万円以上	費用の10% (12.5%)	200万円 (250万円)
補修	費用が300万円以上	費用の10% (12.5%)	100万円 (125万円)

※ () 内は子育て世帯の場合

■住家の被害 「準半壊」「一部損壊」の世帯

被害の程度	支給額（世帯当たり）
準半壊	一律10万円
一部損壊	一律5万円



＼CHECK／

議員から
・住民に対し、わかりやすく、丁寧な説明を求める。

令和6年能登半島地震により自宅に半壊以上の被害を被った世帯が、新たに町内で自宅を建設・購入する場合又は自宅を補修して住み続ける場合、住まい再建に要した費用の一部を支援。
また、「準半壊」「一部損壊」の判定を受けた世帯にも一定額を支援。

予算額
4億3873万円

住まい再建支援金

自宅再建を後押し

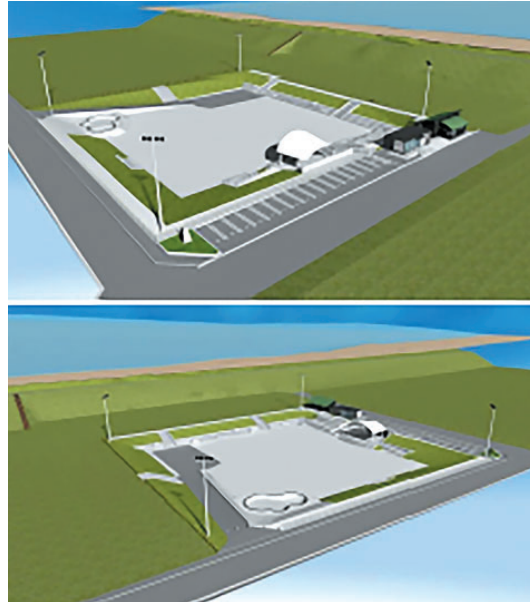
予算額
1億8500万円

＼CHECK／

議員から
・調整池としての本来の機能を確保して工事を進めていただきたい。
・地域振興のために、宝の持ち腐れにならないような仕掛けが必要。

富来領家町地内の調整池を活用したイベント広場として、野外ステージと夜間照明を整備し、イベントを開催できるよう計画。
完成は、令和8年春を予定。

(完成予想図)



多目的広場整備工事

多彩なイベントを開催

令和7年度補正予算を可決

会計名	補正額	予算額
一般会計（第3号）	132億2409万円	529億5271万円
特別・企業会計	国民健康保険	700万円
	後期高齢者医療	75万円
	介護保険	567万円
	水道	収益的支出 58万円
		資本的支出 13万円
	下水道	収益的支出 94万円
		資本的支出 37万円

<一般会計 主な補正理由>

(歳入)

- ・国庫補助金、県復興基金交付金の増額

(歳出)

- ・定期人事異動による職員給与費の減額
- ・災害等廃棄物処理に係る経費、住まい再建支援金の追加
- ・前年度決算に係る法定の財政調整基金積立金等の増額

2 回 臨 時 会

議 決 結 果

※議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名と主な内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
報告 6	専決処分の報告（損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定）	報告のみ
承認 30～34	専決処分の報告（工事請負契約の締結）…災害復旧工事に係る請負契約	承認 賛11 反0
議案 55	令和7年度一般会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算補正額：4億6490万円 歳入歳出予算額：397億2862万円	可決 賛11 反0
議案 56	工事請負契約の締結「町道第6089号栢木大福寺線道路災害復旧工事」…災害復旧工事を行うにあたり、石田工業株式会社 代表取締役 源代 治 と1億5697万円で締結	可決 賛11 反0

9 月 定 例 会

議案番号	議案名と主な内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
議案 57	令和7年度一般会計補正予算（第3号）…6ページ参照	可決 賛11 反0
議案 58～62	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）～令和7年度下水道事業会計補正予算（第1号）…6ページ参照	可決 賛11 反0
議案 63	携帯電話等エリア整備事業分担金及び使用料徴収条例…町が行う携帯電話等エリア整備事業に要する費用に充てるため、徴収する分担金及び使用料の徴収に関し必要な事項を定める。	可決 賛11 反0
議案 64～66	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例～町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例…所要の改正。	可決 賛11 反0
議案 67	「専決処分の承認（工事請負契約の一部変更）」の議決の一部変更…町道今田西谷内線道路災害復旧工事の舗装復旧面積の増工。	可決 賛11 反0
議案 68	財産の処分「能登中核工業団地内の工場用地」…工場用地を売却 所在地：若葉台40番4 地目及び地積：雑種地、7472㎡ 処分金額：39,153,280円 相手方：日高機械エンジニアリング株式会社 代表取締役 日高 明広	可決 賛11 反0
認定 1	令和6年度一般会計歳入歳出決算認定…4・5ページ参照	認定 賛10 反1
認定 2～8	令和6年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定～令和6年度町立富来病院事業会計決算認定…4ページ参照	認定 賛11 反0
請願 4	「消費税率5%以下への引き下げとインボイス制度の廃止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書…長引く物価高が国民生活を直撃し、食費や光熱費など節約の余地が尽き、小規模事業者の倒産も増えている。税制の不公平（大企業・富裕層優遇）を正せば消費税を廃止できるとの試算があり、消費税を引き下げ・単一税率化・廃止すればインボイス制度も不要になる。 提出者：石川県商工団体連合会 宮田 保廣 紹介議員：中谷 松助	不採択 賛2 反9
請願 5	OTC類似薬の保険適用除外に反対する意見書の提出を求める請願書…OTC類似薬が保険適用から外された場合、患者は経済的負担から受診を控えるようになり、自己判断による市販薬使用が増加、病気の早期発見・早期治療の機会が失われ、病状が悪化・重症化したりするケースが増加すると考えられる。 提出者：石川県社会保障推進協議会 代表委員 松浦 健伸 紹介議員：中谷 松助	不採択 賛1 反10
請願 6	能登半島地震被災者の医療費の一部負担金免除の再開のための財政支援を求める「意見書」の提出を求める請願…国民健康保険および後期高齢者医療制度において、令和6年能登半島地震の被災者に対する医療費の一部負担金の免除を再開させるため、国や石川県からのさらなる財政支援を求める。 提出者：石川県保険医協会 会長 三宅 靖 紹介議員：林 一夫	継続審査

議決結果

※議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名と主な内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
議案 69	令和7年度一般会計補正予算(第4号) … 債務負担行為の補正	可決 賛11 反0
議案 70	財産の取得「買取型復興公営住宅整備事業用地」… 買取型復興公営住宅を整備するための事業用地を取得。 所在地：富来領家町甲66番1 外10筆 地目及び地籍：畑、7845㎡ 取得金額：26,120,000円 相手方：富来領家町甲の91番地 角谷 雅彦 外9名	可決 賛11 反0
同意 2・3	教育委員会教育の任命 … 教育委員の任期満了により、高橋淳子氏(再任)、尾田喜久男氏(再任)を任命するため議会の同意を求めるもの。	同意 賛11 反0
発委 2	町議会会議規則の一部を改正する規則 … 本会議及び委員会において、情報通信端末機器を使用することができるよう、所要の改正。	可決 賛11 反0
選挙 1	選挙管理委員会委員の選挙 … 任期満了により、選挙。 山本政直氏(給分)、堤谷一博氏(大笹)、岡田信尚氏(福井)、松村俊昭氏(富来領家町) ※いずれも、再任	当選 賛11 反0
選挙 2	選挙管理委員会委員補充員の選挙 … 任期満了により、選挙。 岡田政行氏(福井)、茶畑勝昭氏(里本江)、岩田義親氏(西山台)、大崎祥司氏(高浜町) ※いずれも、新任	当選 賛11 反0

＜賛否が分かれた議案＞

○は賛成、×は反対

議案番号	小林	梢	表谷	中谷	福田	南	寺井	堂下	越後	富澤	櫻井	林
認定第1号	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	×	×	×	○	—	×	×	○	×	×	×	×
請願第5号	×	×	×	○	—	×	×	×	×	×	×	×



↑ 討論・採決の
映像はコチラから

議案に対する 討論

賛成

反対



討論とは、議案や請願に対し、議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べて他の議員に賛同を求めるものです。

認定第1号 令和6年度一般会計歳入歳出決算認定

反対

「容認できない」 中谷 松助 議員

震災後、原発そのものが大きく問われている中で任意の、事実上の原発推進団体への補助金交付と、テスト漬けになっていると思われる小中学生への学力調査、外部委託料の支出は容認できない。

賛成

「国民負担は増えるばかり」 中谷 松助 議員

政府は社会保障のためと繰り返し説明しながら税率を引上げてきたが、実際は、医療、介護、年金、教育のどれをとっても、国民負担は増えるばかり。消費税を引下げて、単一税率にするか、廃止すればインボイスも必要なくなる。

請願第5号 OTC類似薬の保険適用除外に反対する意見書の提出を求める請願書

賛成

「患者に重大な不利益」 中谷 松助 議員



公的医療給付費は抑制されるかもしれないが、自己負担が増えるだけ。

慢性疾患を抱える患者にとっては、医療アクセスの障壁となり、医療の公平性を損なうことになる。

反対

「医療費削減に向けた取組が重要視」

南 正紀 議員



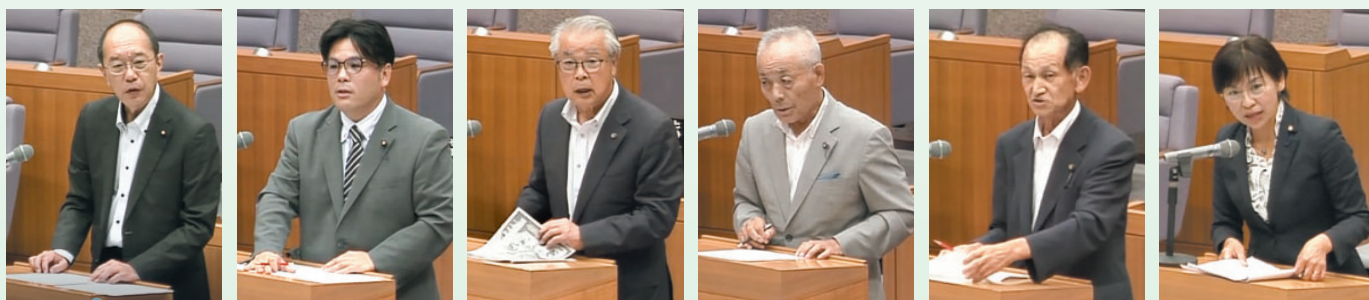
軽症の患者が受診を控えることやコンビニ受診、はしご受診の抑制が図られることで、より重症な疾患を抱える患者や専門性の高い医療に対し、限られた医療資源を投じることが期待される。

6氏が登壇 町政を問う！

【一般質問とは】

議員が町政一般について、報告や説明を求め、質問することをいいます。

1人あたりの持ち時間は答弁を含めて概ね40分です。



南 正紀 議員
(10 ページ)

- 1 町長のエネルギー政策についての考えを問う
- 2 多目的広場について
- 3 山森副町長の着任に際しての抱負を問う

小林 克嘉 議員
(11 ページ)

- 1 全国大会に出場する際の補助制度について
- 2 防災や避難に対する見直しについて

林 一夫 議員
(12 ページ)

- 1 石川北部 RDF 広域処理組合施設の解体処理、組合解散後の処理について
- 2 志賀町全域にわたる「挨拶奨励運動」を展開せよ
- 3 いどばたトークの評価を問う

中谷 松助 議員
(13 ページ)

- 1 準半壊住宅自費解体に補助を
- 2 被災者医療介護費免除特例の復活を求めよ
- 3 学校プールに日よけ屋根の設置を
- 4 保育園主食ご飯の持参解消を
- 5 西山 P 内特急バス停留所の整備を求めよ
- 6 気候変動対策にもなる志賀原発廃炉を求めよ
- 7 新型コロナワクチン定期接種料金値上げの中止を

堂下 健一 議員
(14 ページ)

- 1 長期化する地震対応における職員へのきめ細かなメンタルヘルスケアの対応を聞く
- 2 本町の地震検証報告を聞く
- 3 原子力防災について聞く

梢 正美 議員
(15 ページ)

- 1 復興に向けた交流人口・関係人口の創出と推進体制について
- 2 町民サービス向上に向けた支援制度の“わかりやすさ”と“丁寧さ”への改善について



一般質問を終えての議員の感想です。

議員のひとこと

多目的広場を含む再整備の将来は

観光・体験・交流ゾーンとして 再整備する

商工観光課長



みなみ まさのり 議員
南 正紀



動画はコチラから

南

今回整備される多目的広場の複合施設としての周辺整備と、利用するイベント等の企画を聞く。

富来地域の観光と合わせた交流人口獲得に有効活用が必須と考えるが、将来計画を聞く。

商工観光課長

震災復興の創造的復興リーディングプロジェクトの一環として位置付けており、多目的広場を含む周辺を一体化した観光・体験・交流ゾーンへ再整備する。

多目的広場は来春の完成を予定しており、オープニングイベントのほか、地域の特性を活かした継続的な運用を想定する。

将来計画として、道の駅とぎ海街道周辺の事業を持続可能な観光地域づくりの柱とし、交流人口の拡大と地域経済の活性化につなげる。

議員の

ひとこと

多目的広場の整備、「復旧から復興へ」を実感。



整備が待たれる多目的広場

エネルギー政策の考えを問う

エネルギー安全保障・脱炭素の

両立を目指すべき

町長

南

秋田県と千葉県沖の洋上風力発電事業がコスト増で撤退するとの報道があった。

政府は太陽光パネルのリサイクル義務化を断念するなど再生可能エネルギーの限界を感じるところであり、原子力発電の位置づけが注目されるが、町のエネルギー政策の考えを問う。

町長

次世代革新炉の研究・開発が進む中、再生可能エネルギーの持続可能性を強化し、原子力発電を安全かつ現実的に活用することや、エネルギー安全保障と脱炭素の両立を目指し、技術開発、社会的合意形成、政策の一貫性が不可欠である。

志賀原子力発電所2号機は現在新規制基準の審査を受けており、その動向を注視する。

その他の質問

南

山森副町長の着任に際しての抱負を問う。

副町長

現状・課題をしっかりと見据え、安心して暮らせるまちづくり、安心・安全の確保、活力ある地域経済の振興に努める。

現場の声を大切にし、情報共有と迅速な課題対応を心がけ、町民協働による未来志向のまちづくりに全力を尽くす。

子どもたちの挑戦を支援せよ

制度の充実を検討する

町長

小林

全国大会に出場する場合、多大な経費が発生しており、現行の補助額では十分とは言えない。

小学生から高校生の年代は家庭の負担が大きく、才能ある子ども達の挑戦を支援すべきではないか。

町長

学校の部活動以外で全国大会に出場する場合には「スポーツ全国大会等出場助成金」「社会教育全国大会等出場助成金」を交付している。本年4月からは国際大会の出場にも対応できるよう、制度の拡充を図っている。

今後も学校関係者や各協会と連携し、他の自治体の事例なども参考にしながら、制度の充実を前向きに検討する。



こばやし かつよし 議員
小林 克嘉



動画はコチラから



子ども達の活躍が地域の誇りや活性化に繋がる

再度の災害に備えた避難や防災対策を

住民の自助・共助を促進

環境安全課長

小林

住民から「今回の災害時の避難所はどこか」「避難所の設備は改善されるのか」との声が多く寄せられている。

町は復旧を優先しつつ、能登半島地震の経験を活かし、避難や防災対策の見直しや改善計画を示す必要があるが、優先すべき改善点や将来的な対策の方向性を示す考えはあるのか。

環境安全課長

今回の地震に関する課題として、情報伝達的重要性や高齢者への防災対策、避難所環境の改善が挙げられている。

地域防災計画の見直しを進め、住民の自助・共助を促進し、避難所の整備やトイレ環境の向上に取り組む方針である。

議員の

ひとこと

スポーツや芸能を頑張る若者を応援し、災害経験から出る皆様の不安の声を届けました。

挨拶運動で地域の活力向上を

望ましい習慣として啓発する 町長



小中学校で行われているあいさつ運動
元気な声と笑顔が広がる

林

元気な挨拶は、活力ある地域づくりの源泉であると思う。
町民相互の元気な挨拶を奨励し能登半島地震からの復興に弾みを付けよ。



はやし 林 かずお 一夫 議員



動画はコチラから

町長

町民が日々気持ちよく挨拶を交わし、地域のつながりを深めることは、防犯・防災や地域コミュニティの活性化につながる大変有意義なことであると認識しているが、挨拶は町民一人ひとりの自主的な行為であることから、義務付けや強制するものではなく、望ましい習慣として広く啓発し、定着を促していくことが適切である。

町広報や地域行事、学校・PTA・自治会活動などを通じて、挨拶の持つ意義や効果について周知を図り、町民が自然に取り組めるような環境づくりや気運の醸成を支援する。

議員の

ひとこと

社会の成熟化が進み、他者依存が強くなっています。

団塊世代の皆さん、健康にてもうひと頑張りしましょう。

林

本年夏の「町長といどばたトーク」の成果と反省点、今後の予定等を問う。

町長

全16地区を対象に特定のテーマを設けず、自由な意見交換を行う形式で開催し、170人が参加した。
活発な議論が展開され、住民の視点で行政を見直す機会となり、意義深い機会であった。

一方、周知不足や対象者への配慮が課題とされ、今後は女性や若年層に限定した会議の開催やSNSを活用した意見募集など、町民との対話のあり方を柔軟に工夫していく。

林

その他の質問

石川北部RDF広域処理組合施設の解体処理、組合解散後の処理を聞く。
環境安全課長

予め解体を想定し積み立てた基金以外の不足財源について、組合内で議論されており、組合の決定を注視する。

「いどばたトーク」の成果を聞く 活発な議論、意義深い機会

町長



なかに まつすけ
中谷 松助 議員



動画はコチラから

準半壊住宅 自費解体に補助を

住まいの再建に助成する

環境安全課長

中谷

準半壊認定された住宅がさまざまな事情で解体をせまられる世帯に対し、自費解体することに補助ができないか。

環境安全課長

準半壊や一部損壊は居住可能との認識から、公費による解体撤去はできない。独自の支援として、住まい再建支援金支給事業を創設し、町内での住まいの再建に対し、助成する。



国や県の壁を改めて感じます。

被災者医療介護費免除特例の復活を求めよ

再実施は考えていない 住民課長



保険税収入の減と支援の不均衡が課題

中谷

6月末で地震被災者の医療費免除特例措置が打ち切りとなった。

町は他被災自治体と連携して、国・県に必要な財政支援を求め、特例措置を復活していただきたい。

住民課長

町では、医療費が増加傾向にあること、被災区分によって支援に不均衡が生じていること、県内の被災自治体が免除措置を延長しない方針であることなどから免除期間を6月末までとした。現時点では免除特例の再実施は考えていない。

その他の質問

中谷

学校プールに日よけ屋根の設置を。

教育長

屋根の設置は考えていない。

中谷

保育園主食ご飯の持参解消を。

子育て支援課長

現状のままでは導入は困難な状況だが、完全給食の実施や費用負担の在り方を検討する。

中谷

西山P内特急バス停留所の整備を求めよ。

企画財政課長

ゴミの放置等により清掃に苦慮している事情から、現時点で上り線でのベンチの設置は難しい。

中谷

気候変動対策にもなる志賀原発廃炉を求めよ。

環境安全課長

原子力規制委員会の新規制基準の適合性にかかる審査が行われており、動向を見守る。

中谷

新型コロナウイルス定期接種料金値上げの中止を。

健康福祉課長

自己負担額を接種費用の2割相当の3千円に抑え、接種率向上を図る。

避難場所の見直しが必要

被災の教訓を最大限生かす

環境安全課長



損傷した稗造防災センターの浄化槽

堂下

原発避難の要は少しでも遠くへ避難することにある。指定された避難場所への避難はできない現実があり得るという認識は持っているのか。



どうした 堂下 けんいち 議員



動画はコチラから

環境安全課長

現在、県では原子力防災に係る避難計画の要綱見直しを行っており、町はさまざまなパターンの震源地を想定した避難計画を作成するよう意見する。

町内にある放射線防護施設は、修繕・改修により利用を継続する。

被災したことに伴う教訓を次の災害時に最大限生かすためにも現在、あらゆる角度から検証し、地域防災計画の見直しを進めている。

議員の

ひとこと

地震活動期にある現在、自然災害（地震）と原発事故の複合災害対応は可能なのか。避難できるのか。

メンタルヘルスケアの対応は

負担軽減やメンタルヘルスの確保を図る 町参事兼総務課長

堂下

長期化する地震対応で、職員へのきめ細かなメンタルヘルスの対応が求められるが、対応策を聞く。

町参事兼総務課長

ワークライフバランスの確保や休暇取得の取りやすい環境改善など、復旧・復興のフェーズに合わせた対応にて、職員の負担軽減やメンタルヘルスの確保を図る。

今後数年間は、通常業務に加えて、復旧・復興業務が見込まれるため、部下が同僚や上司に相談しやすい環境づくりを啓発するとともに、管理職が課の職員に日頃から目配りし、ストレスのない風通しの良い環境の醸成に努める。

その他の質問

堂下

本町の「地震検証報告」を聞く。

町長

発災から概ね1年間の町の初動対応の状況と課題、庁内体制や関係機関との連携状況、被災者支援や避難所運営の実態、さらには、今後の災害対応力向上に資する教訓を整理・検証したものを震災対応記録とし、次なる災害対応に活かすことを目的としたものである。



こずえ 梢 まさみ 正美 議員



動画はコチラから

復興に向けた 交流人口・関係人口の創出を

町の活力維持と 復興の成果に繋げる 町長

梢

本町の復興計画には「交流人口・関係人口の創出」が掲げられている。
復興の観点から単なる施設整備に留まらず、町民の満足度や幸福感をどう測り、復興へつなげるのか。

町長

町の復興計画の二環として、観光・交流ゾーンの魅力向上のため「道の駅とぎ海街道周辺の再整備」を重要プロジェクトに位置付けている。

アンケート等を活用して、志賀町ファンの声を把握し、今後の施策に反映する。

県の「関係人口マッチングアプリ」を活用し、地域課題の解決と復興の原動力に繋げる一方、第3次志賀町総合計画や第3期志賀町創生総合戦略に反映し、町の活力維持と復興の成果に繋げる。

議員の
ひとこと

復興は人のつながり。歩みを見える形（指標化）で共に進めたい。

「わかりやすさ」と「丁寧さ」を高めよ

状況に応じた 丁寧な説明を行う

町参事兼総務課長



正しく理解できる対応を

梢

震災関連を含む各種支援制度には、「複雑で対象がわからない」「なぜ該当しないのか理解できない」との声が寄せられている。

窓口での説明が十分に伝わらず、同じ問い合わせが繰り返されることで職員負担増や業務の圧迫にもつながっている。

住民が制度を正しく理解し、安心して支援を受けられるような、広報や窓口対応の「わかりやすさ」と「丁寧さ」を求める。

総務課長

職員が支援制度を横断的に理解し、情報を迅速に共有できる体制の構築を行う。町広報、メール、ライン等による情報発信の強化や階層が深くわかりにくいホームページの再構成を行う。

デジタルに不慣れな高齢者等に対しては、必要により回覧板や通知等の紙媒体での情報提供など、多重的な情報伝達に取り組む。

聞かせてください!

あなたの

声

合併20周年

令和7年9月1日で、志賀町・富来町が合併して20年が経ちました。
この20年を振り返り、『次の世代に伝えたいこと、志賀町が大切に
すべきこと』をお聞きしました。



【70歳以上・男性】

合併で志賀町の地域はたいへん広くなり、
不知の地も多くある。志賀・富来双方の町民
が相互理解を深めることが大切だと思う。そ
のためには、双方の沿革・歴史を学び合うこ
とが必要。資料・教材として、双方の「町史：
概要版」を作成すればどうか。

また次世代を担う小・中学生用に「平
易な概要版」を作成すればいいと思う。



【40代・女性】

旧志賀・旧富来と格差があるように
感じます。同じ志賀町となっているの
に学校の決まり事も志賀と富来で違い
があるので、“志賀町”という言葉に違
和感があります。

次世代では差のない志賀町になって
くれたらいいなと思います。



【20代・女性】

20年前のことは分かりませんが、町外へ
出て行った若者が志賀町・富来に帰ってくる
のは祭りやイベントなので、そういう伝統的
な行事は、震災の影響・人口減少・費用関係
なく残してほしいです。

普段は帰ってこなくても、祭りのために
帰ってくる若者は多いと思います。

富来八朔祭礼は、何十年、何百
年後も残してほしいです。



【40代・女性】

志賀町を支えてきた人が年を重ねて
いくことで、次の世代がその人
たちを支えていく。



【60代・男性】

志賀町に住む人たちの生活様式、地
域の芸能伝統(祭り・太鼓・獅子舞)の
伝承・継続です。

「四季折々」春・夏・秋・冬、能登半
島の自然環境や風土、文化に根ざした
表現があり季節の移り変わり、人々の
生活や行事・旬の食材を使った郷土料
理などの伝承を望みます。



【50代・女性】

人と人との交流を大切に。



聞かせてください！

あなたの声

【60代・男性】

人情に厚く自己を犠牲にして近隣との付き合いを大切にしている心豊かな町民性を大切にしていきたいです。



【60代・男性】

今でこそ寂しくなりましたが、祭り・獅子舞・太鼓などが各地区で盛大に行われていた、元気ある姿を伝えていきたいです。



【60代・男性】

この町の将来を担う子ども達が希望と愛着が持てる町にするための、子育てしやすい環境、これまで町を支えてきてくれた高齢者を労わるバランスのとれた町にしてください。



【70代・男性】

合併後、20年が経過し、富来地域において急激な高齢化が進んでいます。

地域のコミュニティが守れる町、若者が定住・交流できる町を望む。



議員活動報告

読まれ伝わる“議会だより”へ

議会広報特別委員会



令和7年7月30日、石川県地場産業振興センターにて、議会広報サポーター 吉野政明氏による「議会広報の基本と編集」を学びました。

「広報クリニック」では、「ぎかいのひろば」（志賀町議会広報）の良い点や改善課題を確認し、もう一段のステップアップをめざす提案がありました。

今回指摘された事項を参考に、一層読みやすいフォーマットへの進化を目指します。

災害時の議員行動計画を策定

議会全員協議会

令和7年9月26日、災害時における事業継続計画（BCP）策定にあたり、災害時の対応計画と整理方法について、立命館大学教授 井ノ口宗成氏の解説をお聞きしました。

解説後、具体的なBCPの検討・策定に向けて少人数ワークショップを実施しました。

活動事項の整理では令和6年能登半島地震での実際の対応を振り返りながら、実態に即した形で次なる災害を想定し、整理を行いました。



今回は、 志賀町に移住された 富来高田 江崎 青さん にお話しをお聞きしました。

お聞きしました 志賀町のこころ
**しかまち
LIFE**

出身はどちらですか。

志賀町に移住した理由はなんですか

こちらに来て、もうすぐ4年になります。
輪島市出身で、10年ほど関西にいました。
能登に戻りたいと思っていろいろ探していたところ、ご縁があって現在作業をしている倉庫を借りることができたというのが、富来に来た理由です。
海沿いがすごくきれいで、釣りが好きなので、海沿いに住むことも目的のひとつでした。

現在、どんなお仕事をされていますか。

元々、建築の仕事をしていたので、解体される家から古い木材を回収し、再利用して、内装材に使ったり、インテリアを作ったりしています。

今後、志賀町でやりたいことはありますか。

古材や古民家の再生ということをやっていこうとはしていますが、町が抱えている課題を知って、そういうものにも自分が助力できるかなと思い始めました。
海が好きなので、海洋ごみを見ると残念な気持ちになります。
その点では、富来商工会青年部が主催している「海のほとり市」はすごくいいイベントだと思っています。

町や議会に望むことはありますか。

地元元々いる若い人たちが、商工会青年部など人数が少ないので、その活動を助けてほしいと思います。



※海のほとり市

増穂浦海岸で開催される海洋ゴミ拾い
が入場条件の音楽祭×クラフト市です。
今年は10月12日(日)に開催されました。



編集後記

先日、「志賀商工祭」と「海のほとり市」が開催されました。多くの方々が来場され、賑やかなひとときを共有しました。
皆様の笑顔が地域の活力となり、地震からの復興へ向けた大きな希望につながると感じています。引き続き、地域のさらなる発展に向けて共に歩んでいきましょう。



(富澤 軒康)

議会へのご質問、「ぎかいのひろば」についてのご感想・ご意見などありましたら、ホームページの入力フォームをご利用下さい。



お知らせ

12月定例会本会議の日程(予定)です。傍聴に来ませんか。

※本会議はケーブルテレビでも視聴できます。(生放送・録画放送)

12/2 (火)	本会議 10:00	議案の上程 (町長が町の近況や議案説明をします。)
12/9 (火)	本会議 10:00	一般質問 (議員が町政について質問をします。)
12/16 (火)	本会議 14:00	議案の採決 (議案の可否について決定をします。)

発行責任者	議長	議員	委員	副委員長	委員
福田 晃悦	表谷 茂浩	南 正紀	寺井 俊一	富澤 康	櫻井 俊一

議会広報特別委員会